

ミハヤエル・ハネケ

Michael Haneke

生年月日 1942/03/23

出身地 ドイツ／ミュンヘン

【バイオグラフィ】

■ドイツ人俳優で監督の父とオーストリア人女優の母との間に生まれ、オーストリアで育つ。ウィーン大学を卒業後、批評家やTV編集などを経て、1974年のTVムービー「After Liverpool (原題)」で監督デビュー。89年の「セブンス・コンチネント」で劇場長編初メガホン執る。「ファニーゲーム」(97)で初めてカンヌ国際映画祭コンペ部門に招待され、その衝撃的な内容で物議を醸した。以来カンヌの常連となり、2001年の「ピアニスト」は審査員特別グランプリを受賞、09年の「白いリボン」ではついにパルム・ドールに輝く。12年の「愛、アムール」も再び同賞を獲得したほか、数々の映画賞で大喝采を浴びた。また、舞台監督としても多くの作品を演出している。映画作品において、破滅や暴力を淡々と描写し、後味が悪く不快感を誘う作風が特徴的だが、人間の内面に潜む本質を鋭く抉り出す独特の手腕は秀逸。

【フィルモグラフィ】

天才たちの頭の中 ～世界を面白くする107のヒント～ (2018)	出演
ハッピーエンド (2017)	監督, 脚本
愛、アムール (2012)	監督, 脚本
白いリボン (2009)	監督, 脚本
ファニーゲーム U.S.A. (2007)	監督, 脚本
隠された記憶 (2005)	監督, 脚本
毎秒[24]の真実 (2004)	出演
タイム・オブ・ザ・ウルフ (2003)	監督, 脚本
ピアニスト (2001)	監督, 脚本
コード：アンノウン (2000)	監督, 脚本
ファニーゲーム (1997)	監督, 脚本
カフカの「城」 (1997)	監督, 脚本
71フラグメンツ (1994)	監督, 脚本
ベニーズ・ビデオ (1992)	監督, 脚本
セブンス・コンチネント (1989)	監督, 脚本